

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学救急医療学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 2月

福島県立医科大学医学部救急医療学講座 三澤友誉

研究課題名

重症熱傷患者に対する早期手術介入の検討

研究期間

2024年2月 ~ 2024年12月

研究の目的・意義

重症熱傷患者の主な死因として感染症があります。この感染症の管理が重症患者の予後を決定するうえで重要となります。最近の研究では早期の手術介入により、死亡率低下や入院日数短縮といった予後改善の効果が報告されています。今回の研究では感染症を併発する前（早期）に手術介入（デブリ ドマン、植皮術など）を行った方の診療情報を調査し、早期手術介入による感染症の発症および重症化予防の効果を明らかにすることを目的とします。

研究対象となる方

2014年10月1日から2023年10月31日までの10年間で、熱傷を受傷し、当院に搬送され、救急科を主科として入院された方

が対象です。

研究の方法

対象となる方の診療情報から 熱傷面積・熱傷指数・熱傷予後指数、 ICU 滞在日数、 入院日数、 初回抗生剤投与の時期・種類・期間、 初回手術時期・内容、 敗血症・DIC の合併の有無、 植皮の生着率、 耐性菌の検出の有無、 転帰 を調査します。

試料・情報の利用を開始する予定日

2024年3月1日

研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学 救急医療学講座であり、研究責任者は福島県立医科大学救急医療学講座 三澤友誉です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学 学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学 救急医療学講座で利用し解析を行います。

他の機関などへの試料・情報の提供について

他の機関への提供は行いません。

この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部 救急医療学講座 担当：三澤友誉

電話：024-547-1581 FAX：024-547-3399

e-mail：tomo24@fmu.ac.jp